

株式会社東京精密 2022年度(2023年3月期) 第2四半期 決算説明会

2022年11月2日

| | |
|---------------|-------|
| 代表取締役会長 CEO | 吉田 均 |
| 代表取締役社長 COO | 木村 龍一 |
| 代表取締役副社長CFO | 川村 浩一 |
| 取締役 計測社カンパニー長 | 塚田 修一 |

◆ **将来の事象に係わる記述に関する注意**

- 本資料に記載されている情報、ならびに口頭で提供される情報は、現時点で入手可能な情報をもとに、当社が合理的であると判断した一定の前提に基づいております。
- これらは、市況、競争状況、半導体業界ならびに自動車関連業界等の世界的な状況を含む多くの不確実な要因の影響を受けます。
- 従って、今後の当社の実際の業績が、本資料に記載されている情報と大きく異なる場合がありますことをご承知おき下さい。

◆ **表記データ・用語について**

- 注記がある場合を除き、**半導体製造装置セグメント**を「半導体」、**精密計測機器セグメント**を「計測」、また**親会社株主に帰属する当期純利益**を「当期純利益」と記載します。
- 記載されている金額や比率の情報は、注記がある場合を除き、億円またはパーセントによる要約表示を行っております。その為、内訳の計が、合計と一致しない場合があります。
- 2022年度より、在外子会社の収益及び費用は、従来の期末レートから期中平均レートにより円換算する方法に変更しております。これに伴い、2021年度の数値は、期中平均レートを遡及適用した数値を記載しております。

◆ **2022年度第1四半期受注高ならびに受注残高の訂正について**

- 2022年8月2日に開示しました2022年度第1四半期の受注高ならびに第1四半期末の受注残高に誤りがあることが判明しましたので、訂正いたしました。なお、連結財務諸表への影響はございません。詳しくは本日の開示資料をご覧ください。

◆ **監査について**

- 本プレゼンテーション資料は、監査法人による監査の対象外です。

- 決算の説明に先立ちまして、皆様にご案内がございます。
- 第3段落目に記載のように、この第2四半期の連結計算の過程で、8月に開示した 第1四半期の受注高 ならびに 第1四半期末の受注残高に誤りがあることが判明しましたので、訂正いたしました。なお財務諸表への影響はございません。詳しくは、本日 開示いたしました資料をご覧ください。大変申し訳ございません。

次第

- ◆ 2022年度 第2四半期 業績説明
- ◆ 2022年度 通期業績予想
- ◆ 質疑応答

2022年度 第2四半期 連結業績



| 半期業績(億円) | 2021年度 | | 2022年度 | | | |
|-----------------|--------------|--------------|--------------|------|------|-------|
| | 上期 | 下期 | 上期 | 予想対比 | 前半期比 | 前年同期比 |
| 受注高 | 878 | 983 | 802 | | -18% | -9% |
| 売上高 | 612 | 695 | 711 | -34 | +2% | +16% |
| 営業利益 (営業利益率) | 129 (21%) | 154 (22%) | 157 (22%) | +4 | +2% | +22% |
| 経常利益 | 130 | 162 | 166 | +13 | +2% | +28% |
| 当期純利益 | 96 | 117 | 119 | +11 | +2% | +24% |

| 四半期業績(億円) | 2021年度 | | | | 2022年度 | | | |
|-----------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|--------------|--------|-------|
| | 1Q | 2Q | 3Q | 4Q | 1Q | 2Q | 前半四半期比 | 前年同期比 |
| 受注高 | 414 | 464 | 556 | 427 | 462 | 340 | -26% | -27% |
| 売上高 | 288 | 324 | 314 | 381 | 279 | 432 | +55% | +33% |
| 営業利益 (営業利益率) | 60 (21%) | 69 (21%) | 63 (20%) | 91 (24%) | 57 (20%) | 100 (23%) | +76% | +45% |
| 経常利益 | 60 | 70 | 65 | 97 | 65 | 101 | +55% | +45% |
| 当期純利益 | 44 | 53 | 48 | 70 | 48 | 71 | +47% | +35% |

注：第1四半期の受注高を訂正しております。

➤ 前年同期比 増収増益の着地

- 代表取締役社長COO の木村です。日頃大変お世話になっております。
- それでは、2022年度上期ならびに、第2四半期の業績説明に入らせていただきます。
上段、2022年度上期の業績は、受注高は802億円、売上高711億円、
営業利益157億円、経常利益166億円、親会社株主に帰属する当期純利益は
119億円となりました。
- 売上高および各利益は、前年同期比、前半期比ともにプラスとなり、
いずれも半期ベースで既往ピーク実績を更新することができました。
- 第2四半期の業績は、下段に記載の通りになり、
売上高、各利益は、半期同様に、四半期の既往ピークも更新しました。

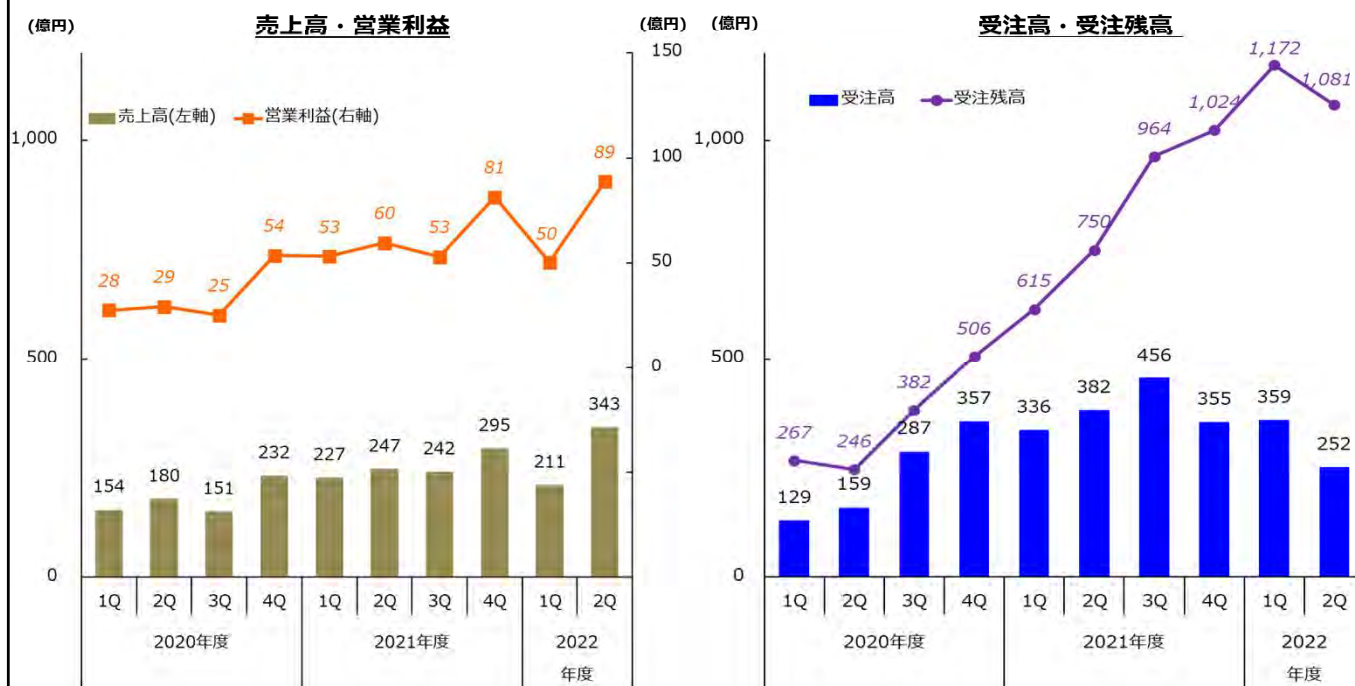
| セグメント業績 (半期：億円) | 2021年度 | | 2022年度 | | | |
|--------------------|--------------|--------------|--------------|------|------|-------|
| | 上期 | 下期 | 上期 | 予想対比 | 前半期比 | 前年同期比 |
| 受注高 | 718 | 811 | 612 | | -25% | -15% |
| 売上高 | 475 | 537 | 554 | -31 | +3% | +17% |
| 営業利益 (営業利益率) | 113 (24%) | 134 (25%) | 139 (25%) | | +4% | +24% |

| 四半期業績(億円) | 2021年度 | | | | 2022年度 | | | |
|-----------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|------|-------|
| | 1Q | 2Q | 3Q | 4Q | 1Q | 2Q | 前半期比 | 前年同期比 |
| 受注高 | 336 | 382 | 456 | 355 | 359 | 252 | -30% | -34% |
| 売上高 | 227 | 247 | 242 | 295 | 211 | 343 | +62% | +39% |
| 営業利益 (営業利益率) | 53 (23%) | 60 (24%) | 53 (22%) | 81 (28%) | 50 (24%) | 89 (26%) | +76% | +49% |

注：第1四半期の受注高を訂正しております。

- 上期受注高は民生関係の需要減少を背景に 減少傾向も、高水準を維持
- 上期に売上高、営業利益は伸長(半期既往ピークを更新)

- 次に半導体製造装置セグメントの業績です。
- 上期の受注高は612億円、売上高は554億円、営業利益は139億円となりました。
- 受注は、引き続きBBレシオ1以上の高水準となりましたが、民生関係の需要減少を背景に、想定通り下降傾向となり、前年同期比、前半期比でマイナスに転じました。
- 売上高は、半期既往ピークとなりましたが、計画は下回りました。
理由については後ほどご説明します。
- 営業利益も半期既往ピークでした。高い工場稼働率や為替などがプラスに寄与しました。
- 第2四半期の業績は下段に記載の通りです。
第1四半期比で売上・利益ともに強い伸びとなりました。



- 売上高：第1四半期据付遅延案件は挽回するも、納期延期要請・台風による期ズレ発生
- 受注高：民生関係の需要は減少したものの、パワー系・グラインダ・ウェーハ製造が下支え

○ こちらは、半導体の売上高、営業利益、受注高などの四半期推移グラフです。

○ 左側は売上高と営業利益の推移です。

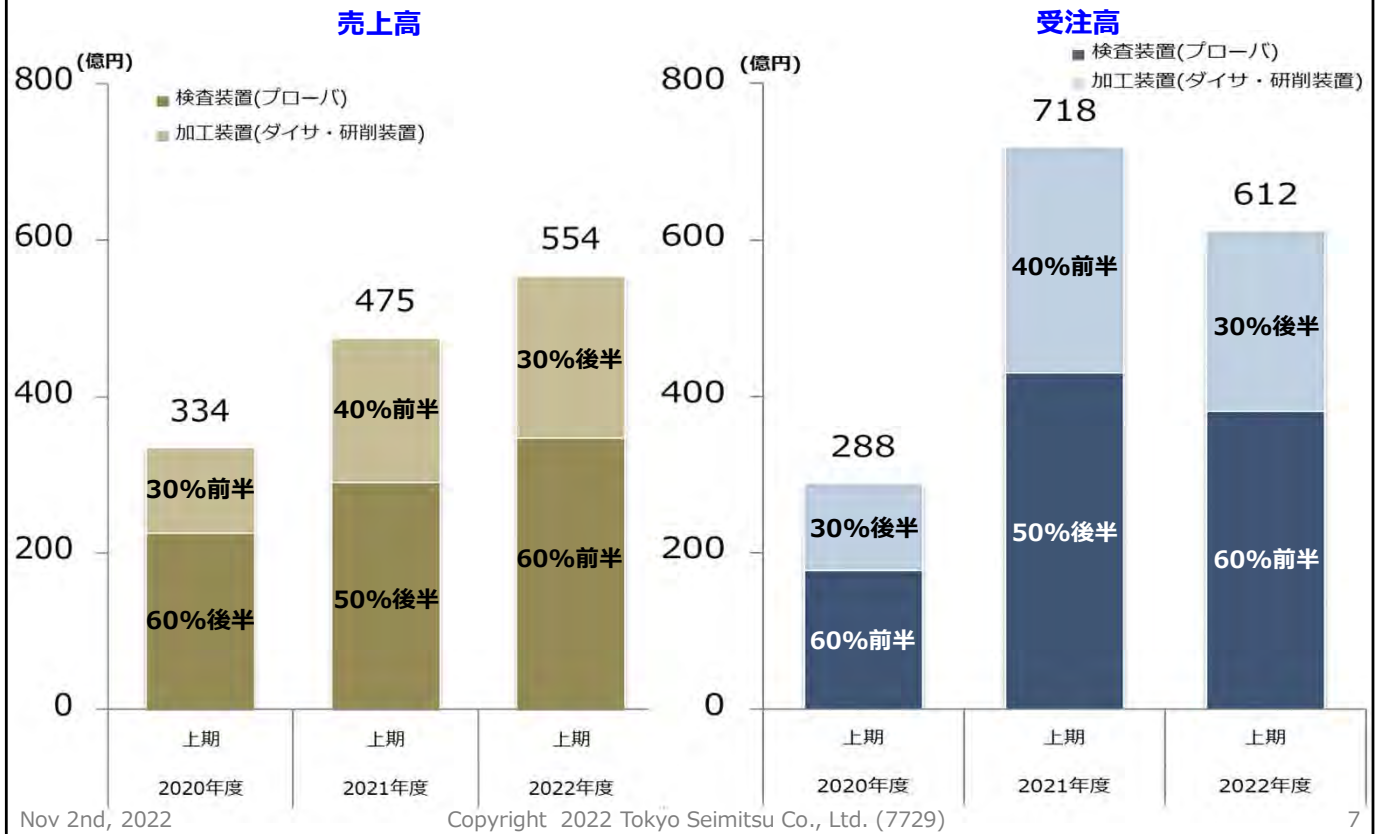
第1四半期の期ズレは第2四半期で概ね挽回できたことで、
売上高・営業利益ともに増進しました。

一方で、足許での納期延期要請による期ズレに加え、秋口の台風により
ロジスティクスの混乱があったため、想定の水準には届きませんでした。

○ 右側は受注高、受注残高です。

第2四半期の受注ですが、民生関係の需要減少により、受注が減少した一方で、
パワー系、グラインダ、ウェーハ製造などの需要が下支えとなり、
200億円を超える水準となりました。

半導体 - 製品別動向



○ こちらは、上期の半導体 製品別 売上高、並びに受注高の推移です。

○ 2022年度の製品別比率は、売上高・受注高ともに
 検査装置、すなわちプローバが6割前半、
 加工装置、すなわちダイサ・研削装置が3割後半となりました。

| セグメント業績 (半期：億円) | 2021年度 | | 2022年度 | | | |
|--------------------|-------------|-------------|-------------|------|------|-------|
| | 上期 | 下期 | 上期 | 予想対比 | 前半期比 | 前年同期比 |
| 受注高 | 160 | 172 | 190 | | +10% | +19% |
| 売上高 | 137 | 158 | 157 | -3 | -1% | +14% |
| 営業利益 (営業利益率) | 16 (12%) | 20 (13%) | 18 (11%) | | -12% | +8% |

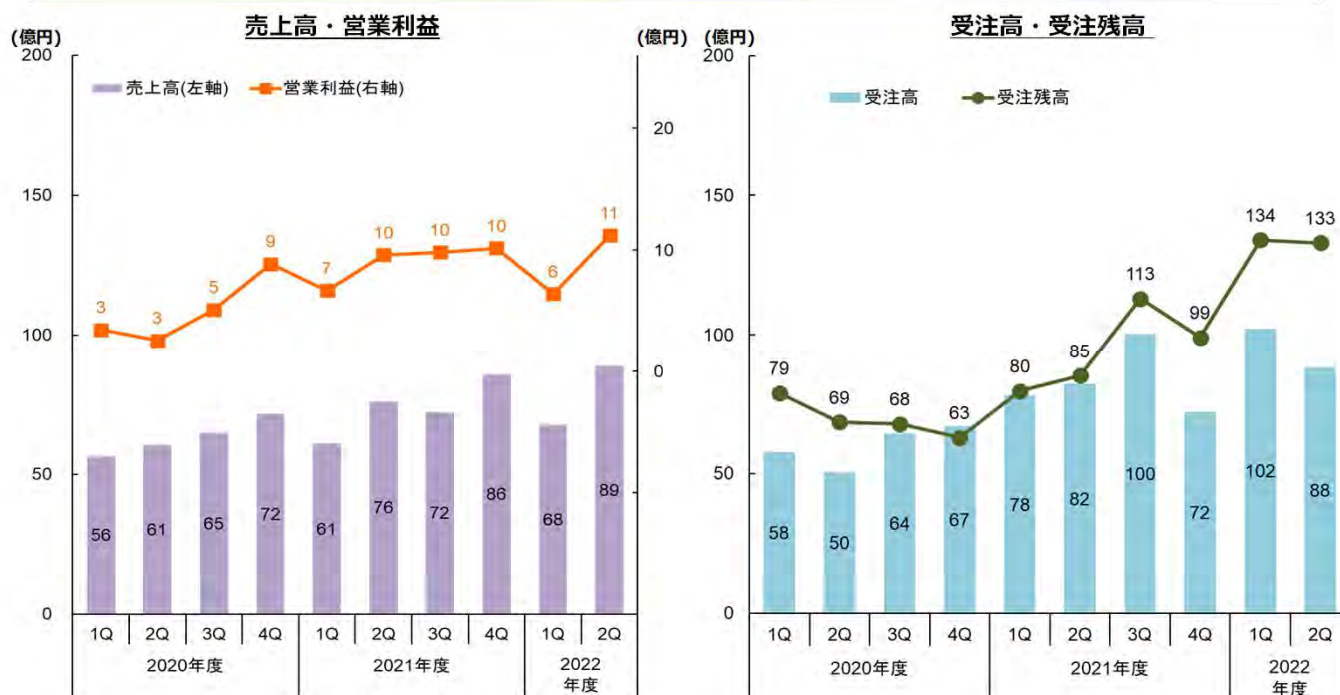
| 四半期業績(億円) | 2021年度 | | | | 2022年度 | | | |
|-----------------|------------|-------------|-------------|-------------|------------|-------------|-------|-------|
| | 1Q | 2Q | 3Q | 4Q | 1Q | 2Q | 前四半期比 | 前年同期比 |
| 受注高 | 78 | 82 | 100 | 72 | 102 | 88 | -14% | +7% |
| 売上高 | 61 | 76 | 72 | 86 | 68 | 89 | +31% | +17% |
| 営業利益 (営業利益率) | 7 (11%) | 10 (13%) | 10 (14%) | 10 (12%) | 6 (10%) | 11 (13%) | +75% | +17% |

注：第1四半期の受注高を訂正しております。

- モノづくり全般の回復を背景に、上期 受注高は半期既往ピーク
- 第2四半期は売上・利益ともに伸長

- 続いて、計測機器セグメントの業績です。
- 上期業績は、受注高 190億円、売上高 157億円、営業利益 18億円となりました。
- モノづくり需要が緩やかに回復するなか、機械・機械部品関連の引合も強く受注高は、半期既往ピークを更新しました。
- 売上高はほぼ計画通りに進み、前年同期比プラス、前半期比は横ばいとなりました。
- 第2四半期の業績は、下段に記載の通りになり、売上高は四半期の既往ピークを更新することができました。

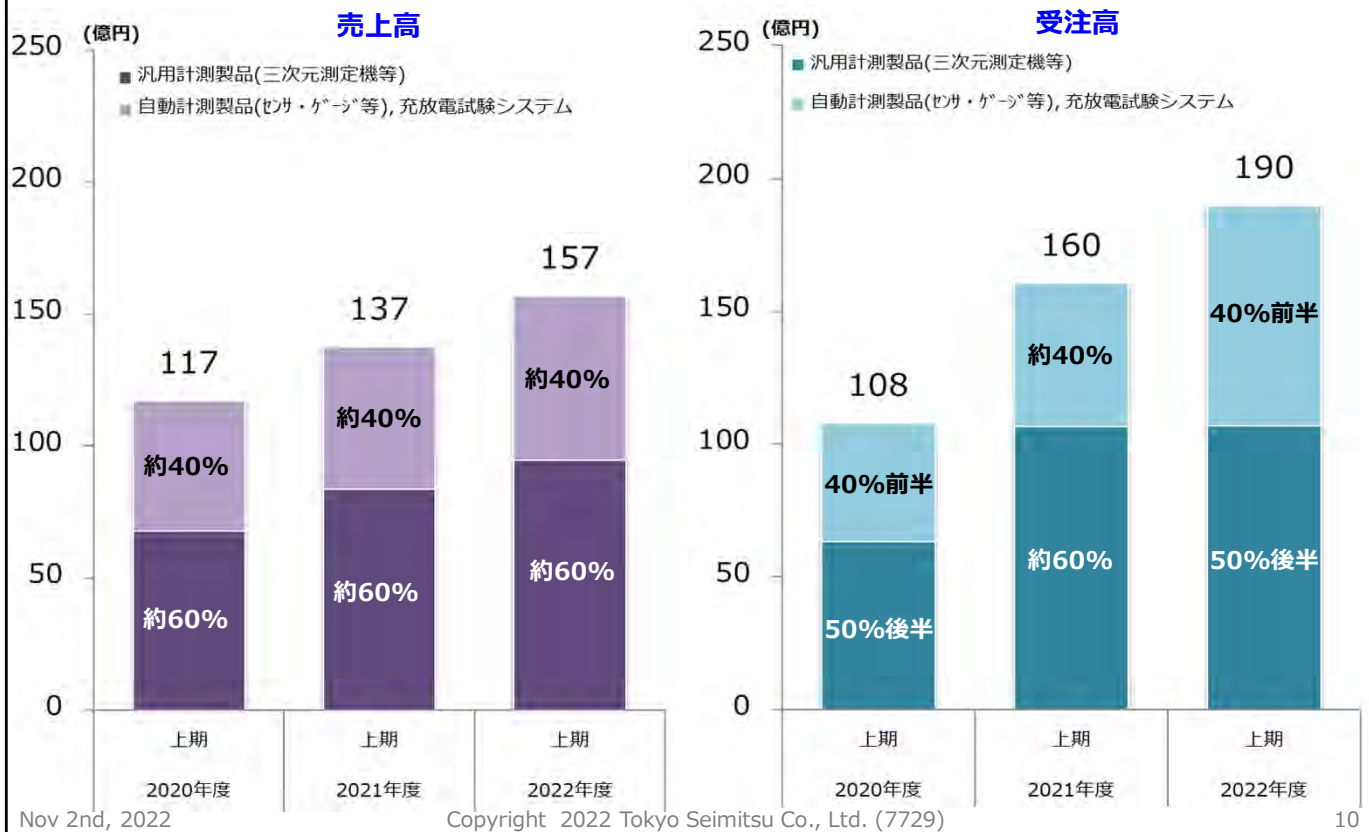
計測 - 四半期業績推移



➤ 売上高：緩やかな回復基調を維持

➤ 受注高：第1四半期からの反動減も、機械・機械部品を中心とした高水準を維持

- こちらは、計測の売上高、営業利益、受注高などの四半期推移グラフです。
- 左側、第2四半期の売上高は、緩やかな回復基調が続きました。
また、製品ミックスの関係で、営業利益も第1四半期比で増加しました。
- 右側、受注高ですが、第1四半期に一過性の要因があったため、そこからの反動はありましたが、ほぼ想定線の受注高となりました。
機械・機械部品を中心とした受注が高水準となりました。

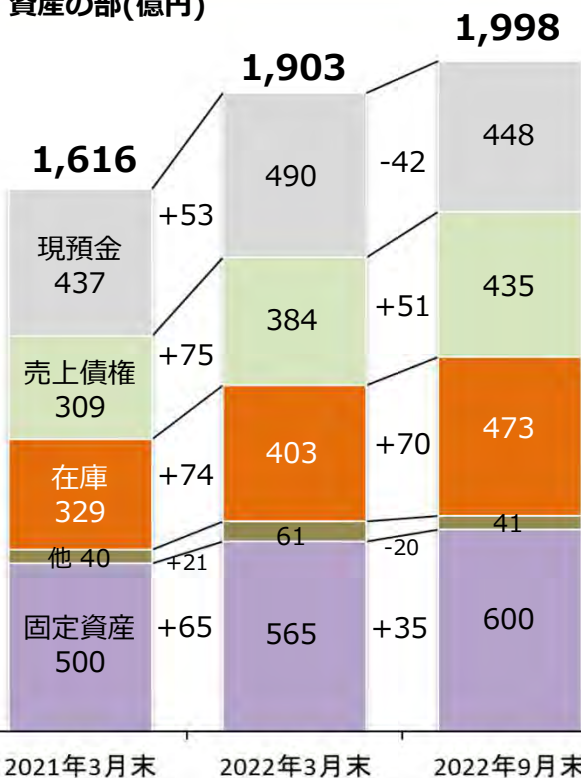


- 次に、計測の製品別売上高、ならびに受注高の推移です。
- 2022年度上期の製品別比率は、
売上高は、三次元測定機に代表される、汎用計測製品が6割、
センサ・ゲージなどの自動計測製品、並びに充放電試験システムが4割でした。
- 受注高では、汎用計測製品が5割後半、センサ・ゲージなどが4割前半です。

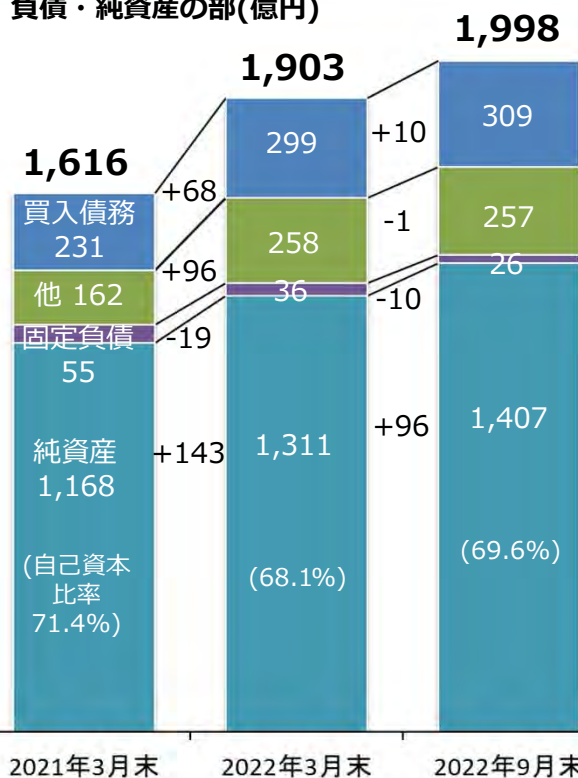
貸借対照表



資産の部(億円)



負債・純資産の部(億円)



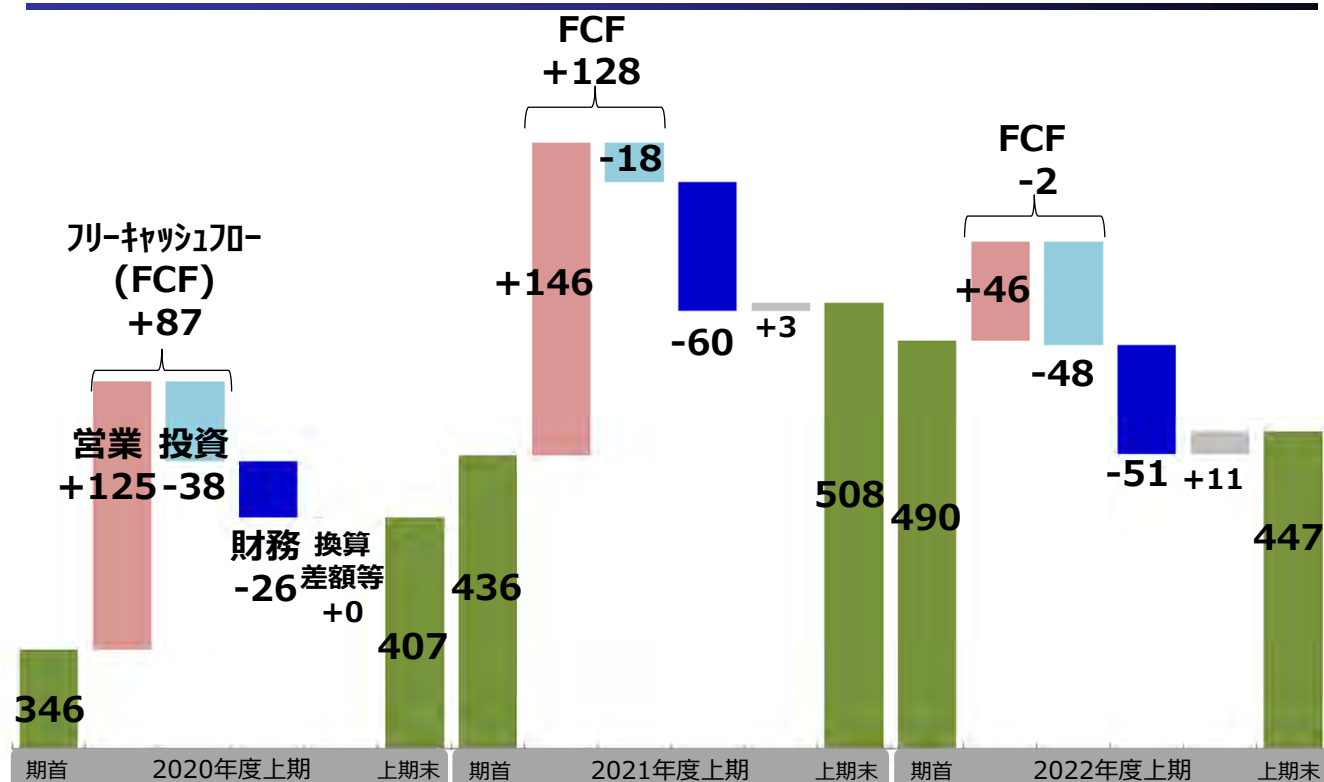
Nov 2nd, 2022

Copyright 2022 Tokyo Seimitsu Co., Ltd. (7729)

11

- 次に、貸借対照表についてご説明いたします。
- 2022年9月末の総資産は1,998億円で、3月末比 95億円増加しました。
左側、資産の部では、上期の売上が増加したことで、売掛金が増加した他、今後の出荷に向け在庫が増加しました。
右上段の負債については大きな変動はありませんでした。
- この結果、9月末の自己資本比率は、3月末比 若干増加し、69.6%となりました。

キャッシュフロー(CF)



Nov 2nd, 2022

Copyright 2022 Tokyo Seimitsu Co., Ltd. (7729)

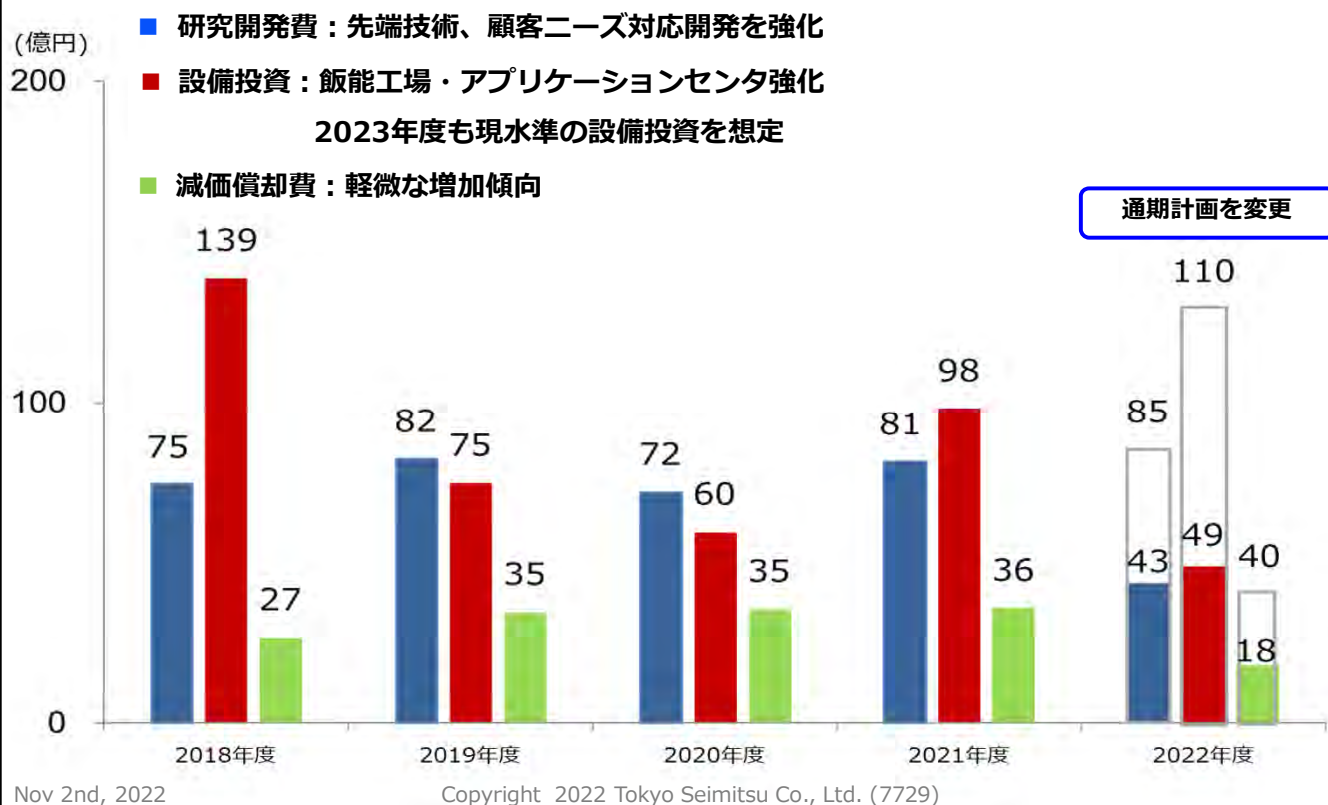
12

○ 次に、キャッシュフローについて説明いたします。上期実績を並べています。

○ 右側、2022年度 上期ですが

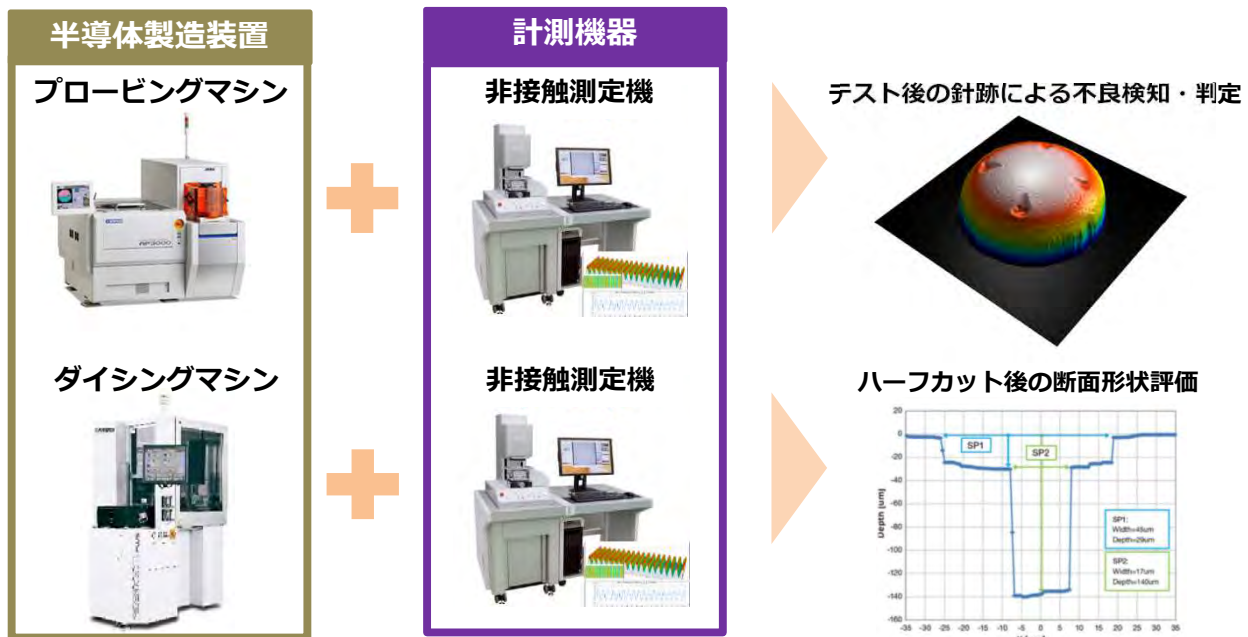
営業活動キャッシュフローはプラス 46億円、
投資活動キャッシュフローはマイナス 48億円、
フリーキャッシュフローはマイナス 2億円となりました。

○ 財務活動キャッシュフローは マイナス 51億円となり、
期末現預金残高は 447億円となりました。



- こちらは、試験研究費や設備投資の実績推移と、今年度の計画です。
- 試験研究費は、上期実績は43億円、ほぼラップ通りです。
引き続き、開発強化に取り組んでまいります。
- 設備投資は、半導体の新工場やアプリケーションセンタが主体で、
上期実績は49億円、通期計画は一部計画の期ずれにより
130億円から110億円へ変更しています。
- 減価償却の上期実績は18億円です。
今後も減価償却は増加する見込みですが、軽微であると見込んでいます。
- 以上が上期の定量面でのご説明になります。
当社は、この5月に3か年の中期経営計画を発表しておりますので、
関連したトピックを1点紹介させていただきます。

- 2022-2024年度 中期経営計画において 半導体製造装置と計測機器のシナジー (唯一の“計測技術”を持つSPE企業) としての価値創出を定義
- 半導体製造装置 “計測機器ビルトインモデル”の顧客展開を開始



Nov 2nd, 2022

Copyright 2022 Tokyo Seimitsu Co., Ltd. (7729)

14

- 中期経営計画の説明で、当社は、“計測技術”を持つ唯一の半導体製造装置企業であり、このシナジーを活かし、価値創出をしてみたい、と説明いたしました。
- 私たちが創出できる価値の一つに、半導体製造装置、高精度計測機器のビルトインがあります。
テスト、後工程プロセスに、高精度リアルタイム測定を組み込むことで後工程にさらに付加価値を創出するものです。
- 実例として、プローバやダイサに、当社の非接触測定機をビルトインさせたモデルの展開を始めています。
プローバでは、テスト後のパッドの針跡の自動検知・判定、
ダイサでは、断面形状の高精度評価などを実現しました。
- 後工程における測定ニーズが大きいこともわかってまいりました。
当社はこういったニーズにいち早くこたえていきたいと考えています。

次第

- ◆ 2022年度 第2四半期 業績説明
- ◆ **2022年度 通期業績予想**
- ◆ 質疑応答

○ 続いて、2022年度通期業績予想について説明します。

全体

- 年度を通じて高水準の生産を維持
- 部材不足、物流停滞、地政学リスク、コロナ動向を注視

半導体

- 受注は年度を通じて減少傾向が続く
- 生産拡張対応、研究開発に加えアプリケーションセンタ強化活動に取り組む

計測

- 自動車関連の回復は引き続き緩やか
- 半導体、NEV、自動化分野への拡販を推進

- こちらは 業績予想の前提です。8月の説明会でお示した資料に、青字でアップデートを入れております。
- 当社での生産自体は、受注残高も大きいいため、年度を通じて高水準になるとみているものの、部材不足の影響が引き続き残っており、改善の兆しは見えません。さらに金利上昇により、マクロ経済の減速リスクも高まっており、注視してゆく所存です。
- 半導体については、8月時点で民生向けの調整が見られましたが、足許 不透明感がより高まっているため、受注は年度一杯減速傾向が続き、パワー、ウェーハ需要などが一定程度 下支えになると考えています。他方、長期目線では成長は続くとの考えは変わらないため、生産拡張、研究開発などは継続していきます。
- 計測では、主力業界である自動車向けの回復は引き続き緩やかながら、モノづくり全体の回復傾向は続き、また、ご覧のような非自動車部品の拡販を推進し業容を拡大させる計画です。

2022年度 業績予想



| 連結業績 (億円, 円) | 2021年度 | | | 2022年度予 | | | |
|-----------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|------|
| | 上期 | 下期 | 通期 | 上期 | 下期予 | 通期予 | 前期比 |
| 売上高 | 612 | 695 | 1,307 | 711 | 739 | 1,450 | +11% |
| 営業利益 (営業利益率) | 129 (21%) | 154 (22%) | 283 (22%) | 157 (22%) | 143 (19%) | 300 (21%) | +6% |
| 経常利益 | 130 | 162 | 292 | 166 | 145 | 311 | +7% |
| 当期純利益 | 96 | 117 | 213 | 119 | 101 | 220 | +3% |
| 1株配当 | | | 185円 | | | 218円 | +33円 |

セグメント別業績予想

| | | | | | | | | |
|-------|-----|-----|-----|-------|-----|-----|-------|------|
| (半導体) | 受注高 | 718 | 811 | 1,529 | 612 | | | |
| | 売上高 | 474 | 537 | 1,011 | 554 | 556 | 1,110 | +10% |
| (計測) | 受注高 | 160 | 172 | 332 | 190 | | | |
| | 売上高 | 137 | 158 | 296 | 157 | 184 | 340 | +15% |

- 2022年5月10日に公表した通期業績予想を修正
- 前回予想対比で、半導体は減収、計測は増収を予想
- 為替前提は115円から135円へ変更

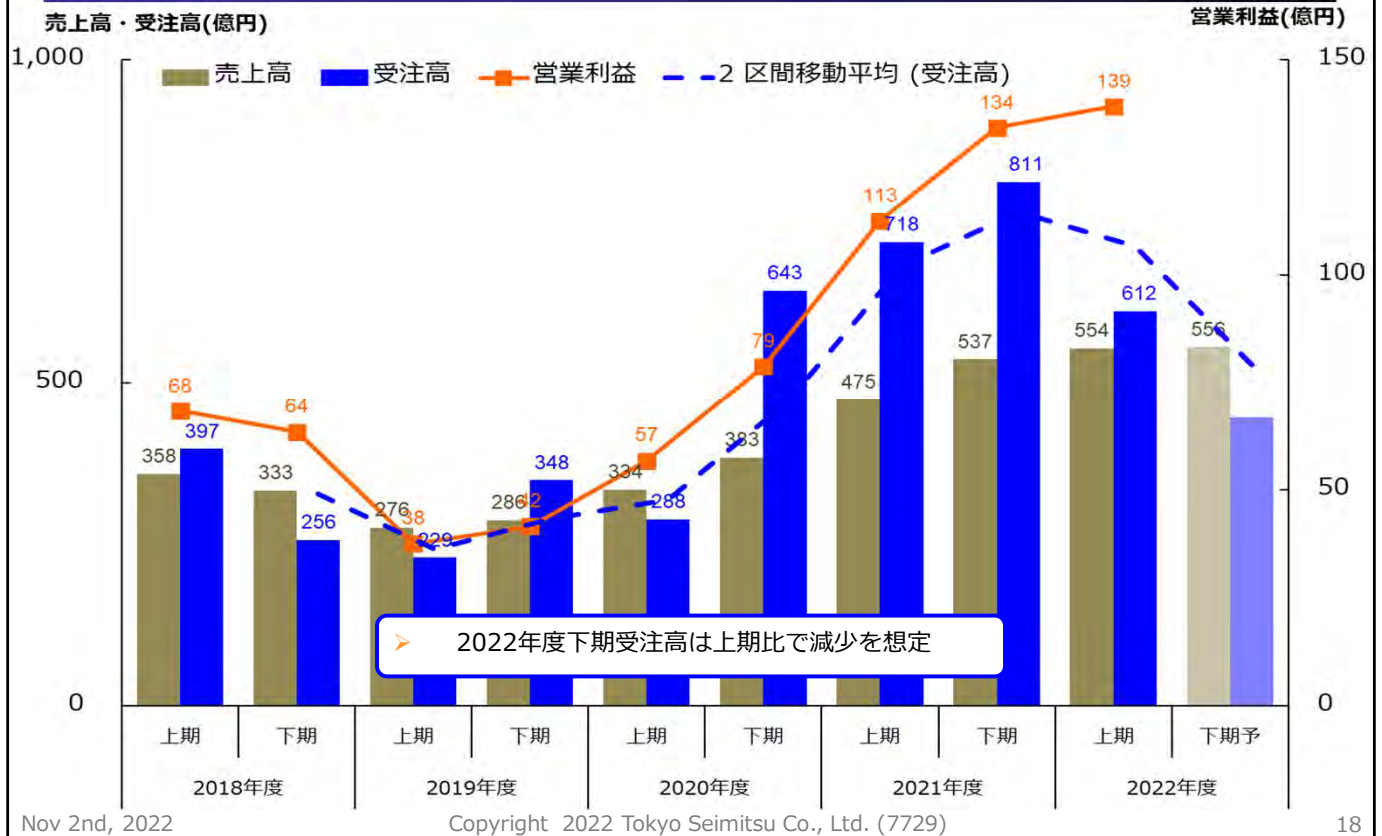
Nov 2nd, 2022

Copyright 2022 Tokyo Seimitsu Co., Ltd. (7729)

17

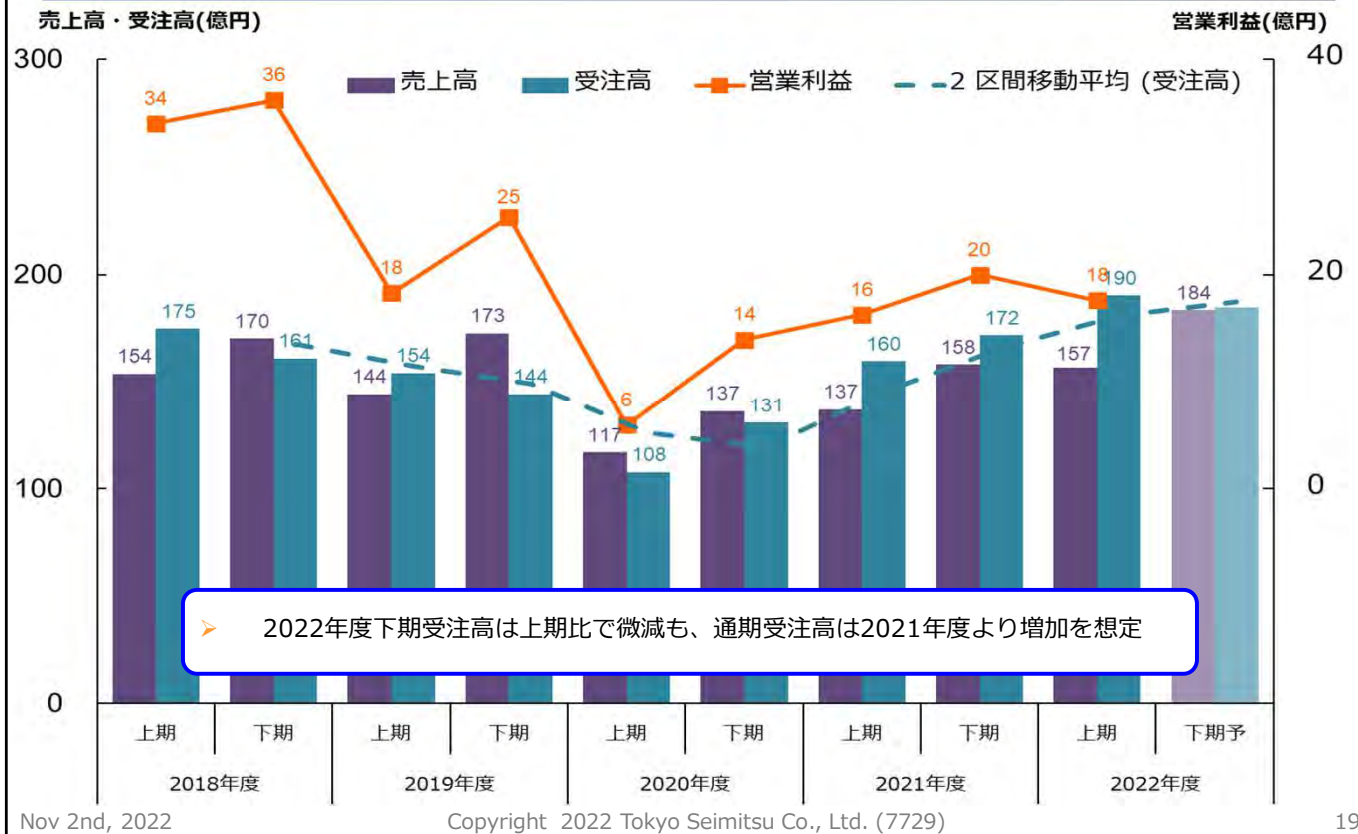
- 以上を踏まえ、2022年度通期の業績予想をご覧のように修正しております。
- 具体的には、売上高を1,450億円、営業利益を300億円、経常利益を311億円、当期純利益220億円であり、売上高を5月公表計画と比べ50億円引き下げています。
- 一方で、高水準の稼働が続くことや、為替前提を円ドル 115円から 135円へ変更したことによるプラスなどを考慮し、営業利益は11億円の減、また経常利益、当期利益は前回計画を据え置きました。
- セグメント別の売上はご覧の通りで、計測の売上予想は10億円引き上げております。
- 年間配当予想については、前回予想を据え置いております。
- なお、為替による利益影響ですが、足許で外貨建売上高が増加していることから、現時点で1ドル1円の変動で 年間の営業利益に1億円程度の影響を見込んでいます。

半導体 - 売上高・受注高 見込



- こちらは、半導体の 売上高及び受注高の、半期ごとの見込みです。
- 青いバーが受注ですが、さきほど申し上げた通り、この下期は、受注高の減少が続くものと予想しています。
- 下期予想の製品構成比は、売上高、受注高ともに、検査装置 6割、加工装置4割を想定します。

計測 - 売上・受注高 見込



- こちらは、計測の売上高及び受注高の、半期ごとの見込みです。
- グリーンで示す受注ですが、下期は、季節性で上期比若干の減少を見ていますが、全体としては回復基調が続くと考えています。
- 製品構成比は、売上高は 汎用計測 6割後半、自動計測・充放電 3割前半、受注高は 汎用計測 7割、自動計測・充放電 3割を想定しています。
- 以上が、私からの説明となります。ご清聴ありがとうございました。

次第

- ◆ 2022年度 第2四半期 業績説明
- ◆ 2022年度 通期業績予想
- ◆ 質疑応答



サステナビリティ情報：



<https://www.accretech.jp/sustainability/index.html>

IR情報：



<https://ir.accretech.jp/ja/index.html>

補足資料

セグメント別業績推移



| (百万円) | 会計期間 | | | | 四半期 | | | | | | | | |
|-------|--------------|--------------|--------------|--------------|----------|--------|--------|---------|----------|---------|---------|----|--|
| | 2019年 3月期 | 2020年 3月期 | 2021年 3月期 | 2022年 3月期 | 2022年3月期 | | | | 2023年3月期 | | | | |
| | | | | | 1Q | 2Q | 3Q | 4Q | 1Q | 2Q | 3Q | 4Q | |
| 受注高 | 半導体 | 65,335 | 57,709 | 93,181 | 152,896 | 33,604 | 38,228 | 45,575 | 35,487 | 35,918 | 25,246 | | |
| | 計測 | 33,573 | 29,866 | 23,878 | 33,159 | 7,780 | 8,192 | 9,995 | 7,191 | 10,246 | 8,788 | | |
| | 合計 | 98,909 | 87,576 | 117,060 | 186,056 | 41,384 | 46,420 | 55,571 | 42,679 | 46,165 | 34,034 | | |
| 受注残高 | 半導体 | 27,670 | 29,182 | 50,619 | 102,370 | 61,493 | 74,990 | 96,367 | 102,370 | 117,153 | 108,134 | | |
| | 計測 | 9,165 | 7,782 | 6,301 | 9,904 | 7,970 | 8,535 | 11,298 | 9,904 | 13,367 | 13,263 | | |
| | 合計 | 36,836 | 36,965 | 56,920 | 112,274 | 69,464 | 83,526 | 107,666 | 112,274 | 130,520 | 121,398 | | |
| 売上高 | 半導体 | 69,117 | 56,198 | 71,745 | 101,145 | 22,729 | 24,731 | 24,198 | 29,485 | 21,135 | 34,264 | | |
| | 計測 | 32,403 | 31,728 | 25,359 | 29,556 | 6,111 | 7,627 | 7,232 | 8,585 | 6,783 | 8,892 | | |
| | 合計 | 101,520 | 87,927 | 97,105 | 130,702 | 28,841 | 32,358 | 31,431 | 38,071 | 27,919 | 43,156 | | |
| 営業利益 | 半導体 | 13,195 | 7,915 | 13,565 | 24,698 | 5,320 | 5,953 | 5,294 | 8,130 | 5,049 | 8,874 | | |
| | 計測 | 7,025 | 4,366 | 1,996 | 3,628 | 667 | 961 | 984 | 1,015 | 641 | 1,120 | | |
| | 合計 | 20,221 | 12,282 | 15,562 | 28,327 | 5,987 | 6,914 | 6,279 | 9,145 | 5,691 | 9,994 | | |
| 営業利益率 | 半導体 | 19.1% | 14.1% | 18.9% | 24.4% | 23.4% | 24.1% | 21.9% | 27.6% | 23.9% | 25.9% | | |
| | 計測 | 21.7% | 13.8% | 7.9% | 12.3% | 10.9% | 12.6% | 13.6% | 11.8% | 9.5% | 12.6% | | |
| | 合計 | 19.9% | 14.0% | 16.0% | 21.7% | 20.8% | 21.4% | 20.0% | 24.0% | 20.4% | 23.2% | | |

損益計算書



| (百万円) | 会計期間 | | | | 四半期 | | | | | | | |
|------------------------------|--------------|--------------|--------------|--------------|----------|--------|--------|--------|----------|--------|----|----|
| | 2019年 3月期 | 2020年 3月期 | 2021年 3月期 | 2022年 3月期 | 2022年3月期 | | | | 2023年3月期 | | | |
| | | | | | 1Q | 2Q | 3Q | 4Q | 1Q | 2Q | 3Q | 4Q |
| 売上高 | 101,520 | 87,927 | 97,105 | 130,702 | 28,841 | 32,358 | 31,431 | 38,071 | 27,919 | 43,156 | | |
| 売上原価 | 60,430 | 53,452 | 60,190 | 77,694 | 17,413 | 19,130 | 19,360 | 21,789 | 15,940 | 25,783 | | |
| 売上総利益 | 41,090 | 34,474 | 36,914 | 53,008 | 11,428 | 13,227 | 12,070 | 16,281 | 11,978 | 17,372 | | |
| 販売費および一般管理費 | 20,869 | 22,192 | 21,351 | 24,681 | 5,440 | 6,313 | 5,790 | 7,136 | 6,287 | 7,378 | | |
| 営業利益 | 20,221 | 12,282 | 15,562 | 28,327 | 5,987 | 6,914 | 6,279 | 9,145 | 5,691 | 9,994 | | |
| 営業外収益 | 688 | 255 | 540 | 987 | 134 | 66 | 175 | 611 | 824 | 96 | | |
| 営業外費用 | 104 | 177 | 235 | 153 | 110 | 27 | -76 | 92 | 18 | 25 | | |
| 経常利益 | 20,805 | 12,360 | 15,867 | 29,160 | 6,011 | 6,953 | 6,531 | 9,664 | 6,496 | 10,065 | | |
| 特別利益 | 58 | 57 | 1,354 | 390 | 13 | - | - | 377 | 5 | 58 | | |
| 特別損失 | 419 | 1,712 | 1,074 | 34 | - | - | - | 34 | - | - | | |
| 税引前利益 | 20,443 | 10,705 | 16,147 | 29,516 | 6,024 | 6,953 | 6,531 | 10,007 | 6,502 | 10,124 | | |
| 法人税等合計 | 5,719 | 3,598 | 3,978 | 8,132 | 1,651 | 1,688 | 1,753 | 3,038 | 1,660 | 3,019 | | |
| 親会社株主に帰属する 当期純利益 | 14,665 | 7,156 | 12,175 | 21,326 | 4,356 | 5,250 | 4,755 | 6,963 | 4,812 | 7,096 | | |
| 1株当たり当期純利益 (円) | 352.92 | 171.89 | 293.83 | 522.52 | 106.09 | 128.30 | 117.06 | 171.34 | 118.38 | 174.47 | | |
| 潜在株式調整後 1株当たり当期純利益 (円) | 350.23 | 170.72 | 291.43 | 517.51 | - | - | - | - | - | - | | |

貸借対照表



| (百万円) | 2020年3月期 | 2021年3月期 | 2022年3月期 | 2023年3月期(2Q末) |
|--------------|----------|----------|----------|---------------|
| 現金及び預金 | 34,640 | 43,657 | 49,033 | 44,796 |
| 流動資産 | | | | |
| 売上債権※1 | 29,633 | 30,946 | 38,367 | 43,526 |
| 在庫 | 30,152 | 32,886 | 40,325 | 47,304 |
| その他 | 3,345 | 4,025 | 6,103 | 4,148 |
| 合計 | 97,771 | 111,516 | 133,829 | 139,776 |
| 固定資産合計 | 48,777 | 50,039 | 56,457 | 60,048 |
| 総資産 | 146,549 | 161,556 | 190,287 | 199,824 |
| 流動負債 | | | | |
| 買入債務※2 | 16,895 | 23,062 | 29,876 | 30,880 |
| その他 | 12,121 | 16,233 | 25,765 | 25,669 |
| 合計 | 29,017 | 39,296 | 55,641 | 56,550 |
| 固定負債合計 | 7,857 | 5,482 | 3,564 | 2,560 |
| 負債合計 | 36,874 | 44,778 | 59,206 | 59,110 |
| 純資産合計 | 109,674 | 116,777 | 131,081 | 140,714 |
| 負債・純資産合計 | 146,549 | 161,556 | 190,287 | 199,824 |
| 有利子負債合計 | 9,641 | 7,581 | 5,497 | 4,535 |
| 自己資本比率 | 73.9% | 71.4% | 68.1% | 69.6% |
| 自己資本利益率(ROE) | 6.7% | 10.9% | 17.4% | - |

※1: 電子記録債権、契約資産を含む ※2: 電子記録債務を含む

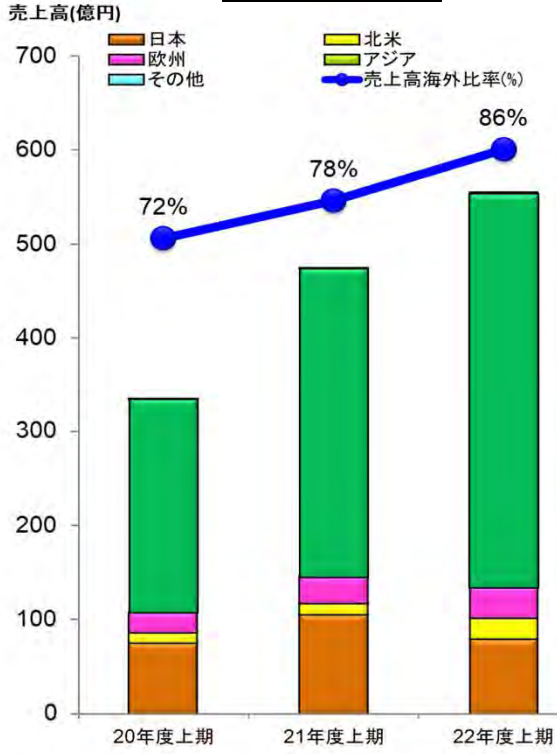
各種費用, キャッシュフロー



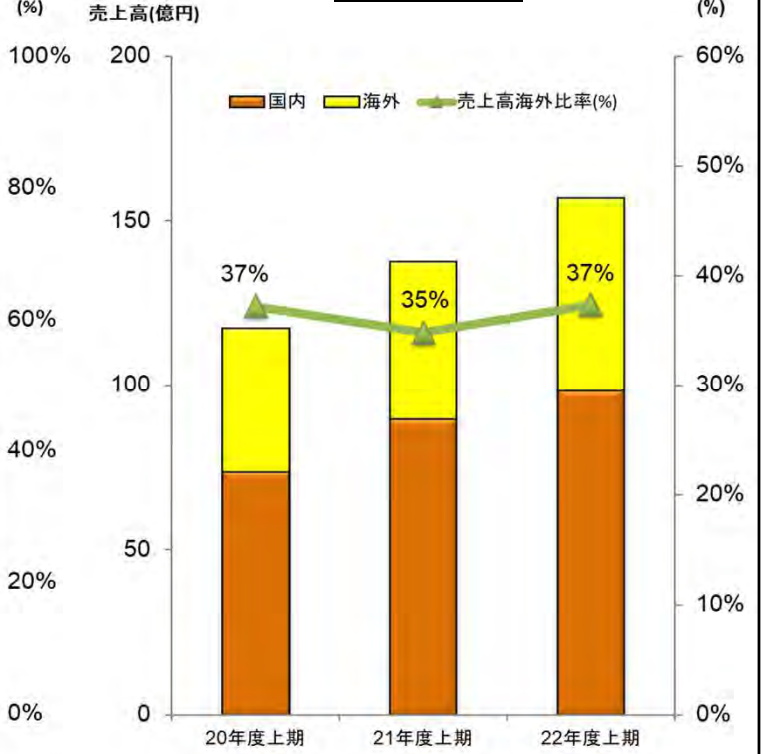
| (百万円) | 2020年3月期 | 2021年3月期 | 2022年3月期 | 2023年3月期(上期) |
|--------------|----------|----------|----------|--------------|
| 試験研究費 | 8,234 | 7,193 | 8,146 | 4,342 |
| 設備投資 | 7,477 | 5,950 | 9,793 | 4,869 |
| 減価償却費(のれん除く) | 3,450 | 3,516 | 3,551 | 1,798 |

| (百万円) | 2020年3月期 | 2021年3月期 | 2022年3月期 | 2023年3月期(上期) |
|-----------------------|----------|----------|----------|--------------|
| 営業活動によるキャッシュフロー | 5,965 | 22,062 | 23,837 | 4,611 |
| 投資活動によるキャッシュフロー | -6,116 | -5,191 | -8,990 | -4,803 |
| フリーキャッシュフロー | -150 | 16,871 | 14,846 | -191 |
| 財務活動によるキャッシュフロー | -6,375 | -8,282 | -10,346 | -5,120 |
| 現金及び現金同等物に係る 換算差額等 | -159 | 429 | 882 | 1,055 |
| 現金及び現金同等物の期末残高 | 34,605 | 43,624 | 49,006 | 44,749 |

半導体製造装置



精密計測機器



従業員数推移



注) 上記従業員は、正社員と期末時点の臨時従業員の単純合算